

## キッズキャンパス 2005

期間：2005（平成 17）年 9 月 20 日、9 月 25 日

主催：広島市立大学芸術学部

協賛：広島日野自動車株式会社

報告：伊東敏光

「キッズキャンパス」は、広島日野自動車株式会社の寄付講座として広島市立大学芸術学部の『全ての世代に亘る生涯学習への取り組み』の一環としてスタート致しました。



原画：中福恭平

### 児童絵画をもとにした大型彫刻の制作

開催日：2005 年 9 月 20 日（火）

会場：広島市立大学芸術学部、広島大学病院（霞キャンパス）

協力：ほうりん沼田幼稚園 月組

本プログラムは、幼児、児童の創造力と造形感覚に着目し、「彼らの絵の中の世界がもし現実存在したらどうなるだろうか。」という考えを基に進めている。きっかけとなったのは病気治療のために広島大学病院の院内学級で授業を受けていた 11 歳の児童が描いた絵画との出会いであったが、その絵を観た瞬間私はそこに描かれた不思議な動物（怪獣）にこそ惹かれ、なんとか彫刻

にしてみたいと強く思った。制作は彫刻専攻の学生達と共に、鉄を素材に立体化していった。今回キッズキャンパスに参加してくれた園児たちは、この彫刻を見、戯れた後、思い思いに自分の世界を絵に描いてくれた。私たち研究グループは、彼らが描いた生き生きとした生物のいくつかを、また彫刻にしたいと考えている。

担当：彫刻専攻助教授・伊東敏光

関連企画「医療と芸術」展

会期：2005 年 9 月 2 日（金）－ 30 日（金）

会場：広島大学病院 霞キャンパス一帯（広島市南区霞 1-2-3）

主催：「医療と芸術」展実行委員会

## 自然と触れ合い芸術家と共に描く

開催日：2005年9月25日（日）

会場：広島市立大学芸術学部、広島市安佐動物公園

本プログラムでは、子どもの創造性を喚起する為に、父兄や学生たちと共に動物園を訪問して動物とふれあいながらスケッチをとり、大学の場を借りて普段とは違うスケールの絵を描いてもら

いました。美術を体験する事自体が教育的な内容を包含しており芸術的体験を通して人間本来の創造性を開発することが美術教育の目的であると私は考えています。芸術を生み出す実技者の感性を触媒として子供たちの心に直接作用する事が重要な課題であり、親子での関わりによってアートがより密接なものになるように『クリエイティブ（creative）でコンピテント（competent）な子供の為のプログラム』を立案し実践しました。

担当：油絵専攻講師・森永昌司



## 「キッズキャンパス 2005」作品展示

開催日：2005年10月8日（土）・9日（日）・10日（月）

会場：広島市立大学芸国際学部棟エントランスホール及び芝生広場

『児童絵画をもとにした大型彫刻制作』『自然と触れ合い芸術家と共に描く』両プログラムで出来上がった子供たちの作品展示会を行いました。プログラムに参加した子供たち、その家族の方々をはじめ、沢山の方に足を運んでいただきました。

